

2020年12月3日  
第一生命保険株式会社  
責任投資推進部

# 第一生命のステュワードシップ活動

一生涯のパートナー

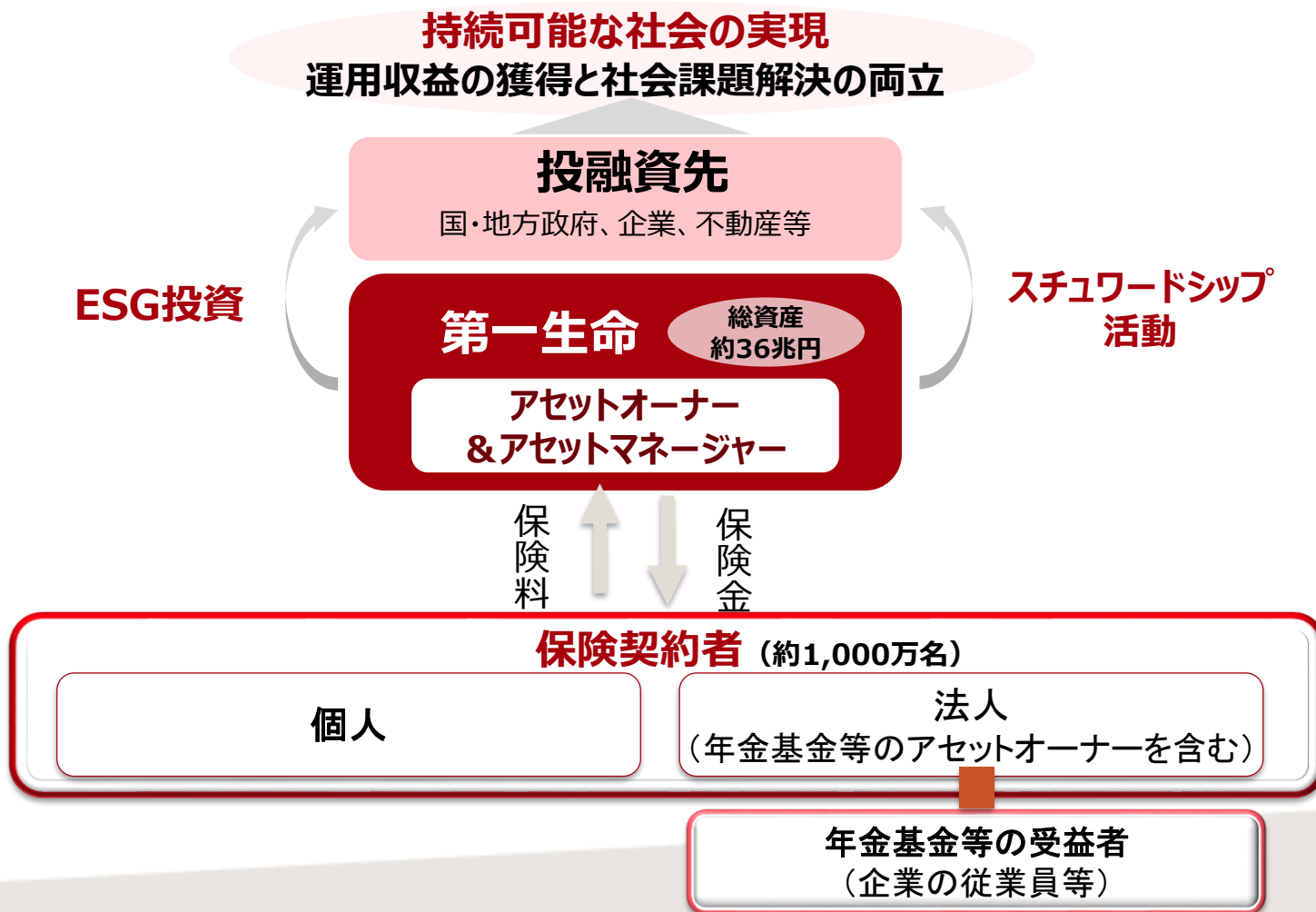
**第一生命**



Dai-ichi Life Group

# 第一生命保険の特徴

- ◆ 当社は、保険商品の提供を裏付けとした資産保有者（「アセットオーナー」）であると同時に、保険契約に基づく保険料の運用を自社（インハウス）で行う資産運用者（「アセットマネージャー」）の役割も担った機関投資家です。
- ◆ 「一生涯のパートナー」をミッションに掲げる当社の重要な取組の一つに責任投資（ESG投資・スチュワードシップ活動）を掲げ取組を推進することで、中長期的な投資リターンを獲得と持続可能な社会の実現を目指します。



# 第一生命のステewardシップ活動

- ◆ 体制強化を通じたエンゲージメント手法・テーマの多様化、議決権行使に関する情報開示充実による透明性向上等を通じて、エンゲージメントに重点を置いたステewardシップ活動を継続的にレベルアップしてきました。
- ◆ 当社では経営戦略・財務戦略に加えて、「ESG」をテーマとしたエンゲージメントに注力しており、2019年度以降は特に気候変動を重点テーマとして選定し、企業の気候変動への対応を促しています。

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
エンゲージメント従事者数 (専任担当者数)	14名 (0名)	17名 (2名)	17名 (3名)	19名 (6名) <b>責任投資推進室新設</b>	20名 (7名)	20名 (7名)
エンゲージメント企業	110社	233社	277社	271社 <b>3年毎累積でポートフォリオの時価総額の約9割をカバー</b>	251社	239社 <b>債券対話開始</b>
			協働エンゲージメント (生保協会)	約100社 (書簡送付)	約110社 (書簡送付・対話)	約140社 (書簡送付・対話)
エンゲージメントテーマ	コーポレート・ガバナンス			環境・社会課題	<b>本格開始 ESG</b> <b>気候変動対話強化</b>	
				経営戦略		
				財務戦略		
議決権行使結果の開示	議決権行使結果の集計表（議案種類毎）の開示			議決権行使基準の概要開示		議決権行使基準の詳細開示
				<b>透明性向上</b>		個別議案毎の賛否開示（四半期毎）
						賛否理由開示

ステewardシップ・コード受入表明

# スチュワードシップ活動の2020年度取組方針

(対象期間：2020年7月～2021年6月)

## エンゲージメント

社会・事業環境の激変を踏まえ、ESGエンゲージメントを通じて企業の取組みや行動変容を後押し

### ◆ 新型コロナウイルス感染症拡大への対応

- ✓ 取引先等のサプライチェーン全体の安全・健康確保や従業員の働き方改革への取組、中長期的に持続可能なビジネスモデルへの変革に向けた経営方針（DX対応）等を確認



### ◆ 気候変動・廃棄プラスチック対話の強化

- ✓ TCFD提言に基づく開示など、気候変動問題への対応に加え、新たに廃棄プラスチック問題に対する取組みを重点テーマとし、対象企業の取組み方針を確認



### ◆ 議決権行使の判断理由の開示充実

- ✓ 個別判断理由の記載を一層充実させるなど、議決権行使に関する当社の考え方を分かりやすく開示し、建設的な対話を一層促進



### ◆ 対話手法の多様化

- ✓ 国内外の協働エンゲージメントへの参画を通じて、投資家共通の課題解決や市場環境整備に向け、個社単体以上の影響力を発揮



- ✓ ビデオ会議・電話会議や書簡の送付など、対面对話以外のエンゲージメント手段を積極的に活用

